

ジェネラティビティで紡ぐ 重層的な地域多世代共助システムの開発

研究代表者：藤原 佳典

(東京都健康長寿医療センター研究所社会参加と地域保健研究チーム研究部長)

実施者・協力者： 東邦大学、桜美林大学、日本大学、株式会社AsMama
北区健康福祉部、川崎市多摩区役所地域保健福祉課

実施地域： 東京都北区、神奈川県川崎市多摩区

背景

- ・ 少子高齢化による財源不足に伴う安定的施策の維持困難
- ・ コミュニティ弱体化による安全・安心な暮らしの維持困難

● 市民間の潜在的世代間対立

課題 1

情緒的支援の不足

課題 2

社会参加機会の不足

● 行政施策の限界

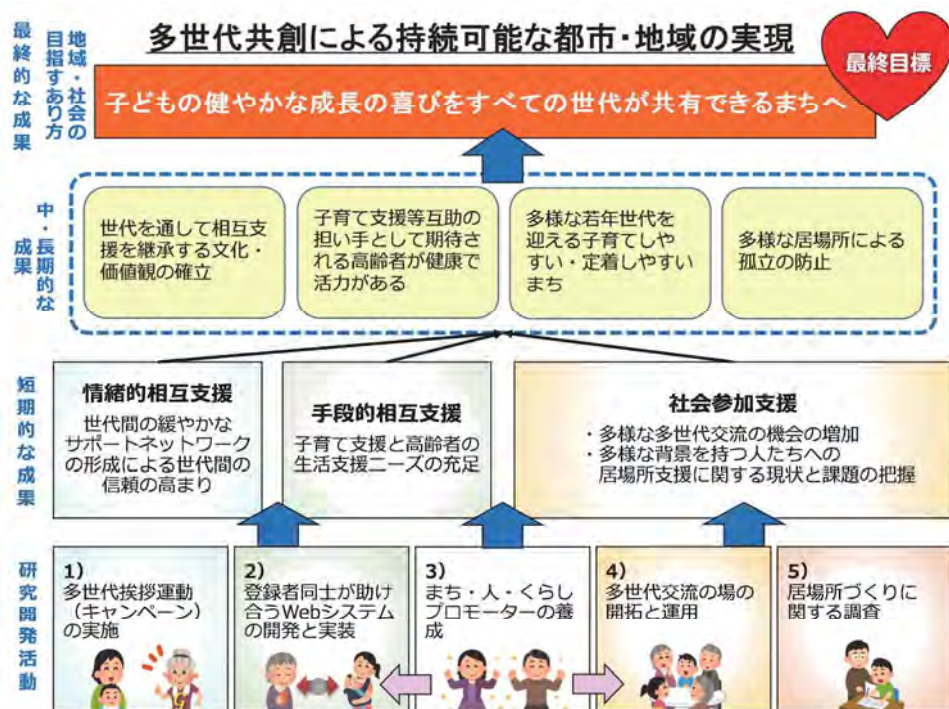
課題 3

手段的支援の不足

課題 4

生活基盤支援の不足

プロジェクトが目指すもの



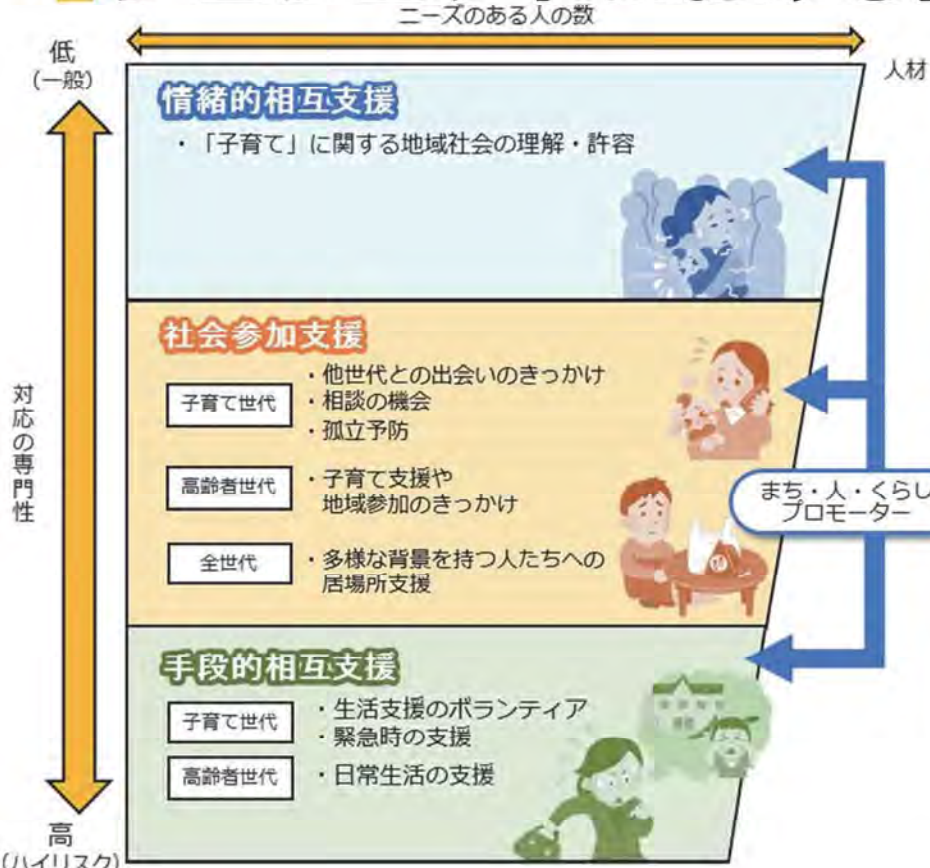
<主な評価指標>

ジェネラティビティ尺度、ソーシャルキャピタル、子育て支援に関する意向等

<明らかにしたいこと>

1. 世代間の信頼感は、緩やかなサポートネットワークの形成により高まるか。
2. 子育て支援と高齢者の生活支援ニーズを互助のシステムにより解決できるか。
3. 多様な多世代交流機会は、共助やネットワーク形成につながるか

プロジェクトにおける持続可能性、多世代共創



- ① 多世代挨拶運動(キャンペーン)
世代間の緩やかなサポートネットワーク形成
- ② 多世代交流の場の開拓と運用
多様な多世代交流の機会の増加
- ③ Webマッチングシステムの開発と実装
子育て支援と高齢者の生活支援ニーズの充足
- ④ まち・人・暮らしプロモーターの養成
①の推進②の企画運営③のマッチング支援

これまでにわかったこと・課題

多世代挨拶運動の展開



北区志茂地区マーク 多摩区中野島地区マーク



今後の取組課題

子育て世代を活動に取り込む工夫

多世代相互支援推進会議の運営



- 協議会の実施(北区13回、多摩区10回)
- 議論の見える化が活動への意欲を形成

今後の取組課題

- 多様な組織・団体間の調整と連携強化
- 持続可能な協議会の運営や体制づくり

まち・人・暮らしプロモーターの養成

回	プログラム内容
第1回	オリエンテーション →暮らしサポーターとは？高齢者・子育て世代の今
第2回	子育て支援についてⅠ →子ども・子どもへの関わり方の理解
第3回	子育て支援についてⅡ →親・親への関わり方の理解
第4回	高齢者支援について →高齢者の身体と心、コミュニケーションの理解
第5回	多世代交流についてⅠ →多世代交流の意義と企画方法
第6回	多世代交流についてⅡ →多世代交流の運営と評価方法
第7回	まとめ →活動に関するグループディスカッションなど



グループワーク

今後の取組課題

- 自発的・継続的活動
- 地域資源の開拓・連携

多世代交流の場づくり

地域の魅力再発見！志茂二丁目まち歩き

日時: 2017年2月20日(月) 10:00集合～13:00解散予定

参加費: 300円

中野島あそび交交流会

日時: 2017年2月26日(日) 10:30開演～12:30終了予定 (10:00から受付開始)

会場: 中野島中央公園 (雨天時、多摩川住宅第1 生会所)

北区志茂ジェネカフェが3月オープン▼



今後の取組課題

- 自主的に運営するため、まちプロの取り込み
- ウェブマッチングとの連動

Webマッチングシステム(よりあい)の開発

<https://yoriai.asmama.jp>



今後の取組課題

- ウェブサービスに対する理解の難しさや抵抗感
- 既存のサービス事業者との連携や相互理解

事業評価に向けたベースライン調査の実施

住民調査 (28年度ベースライン) 北区の結果より

調査票の種類	年齢層	介入地区 (志茂)		非介入地区 (志茂以外)	
		送付数	回収数 (回収率)	送付数	回収数 (回収率)
65歳以上版	65～84歳	1500	639(42.6%)	1500	687(45.8%)
	50～64歳	1500	491(32.7%)	1500	517(34.5%)
64歳以下版	25～49歳	3000	619(20.6%)	3000	732(24.4%)

子どもや子育て中の人に対して、あなたは次のようなことをすることがどのくらいありますか。この1年くらいの経験を振り返ってお答えください。

- ※ 自身の子どもや孫に対して行っていることは除く。
- ※ 「よくある」「ときどきある」「あまりない」「全くない」から一つを選択。(以下のグラフには、「よくある」と「ときどきある」を合算した割合を示す。)

